

## 第 4 回 櫛田川自然再生推進会議 議事概要

日 時：平成 31 年 2 月 7 日（木） 13:00～14:40

場 所：松阪公民館

## 1. 開 会

## 2. 挨拶（三重河川国道事務所 副所長）

## 3. 委員紹介

## 4. 議 題

## (1) 第 3 回櫛田川自然再生推進会議議事概要について

○第 3 回推進会議の議事概要について事務局から説明を行い、了承とされた。

## (2) 平成 29、30 年度の取り組みについて

## 1) 自然再生モニタリングについて

○H29、30 自然再生モニタリング結果について説明を行った。

○委員より以下の意見、質問を頂いた。

・今はアユがまずくて食べられない。櫛田川の水質が悪いのではないかと。昔は橋の上から見ても水が澄んでいた。（多気町中朝長区長）

→水質調査は月 1 回実施しており、櫛田川の水質は良好であるものと認識している。H28 には全国一の水質となった。H29 もそれほど水質が悪くなることはなかった。次回の会議から、水質のデータについても提示し、説明させて頂きたい。

・第一頭首工では、梅雨が明けて 7 月には魚道だけにしか水が流れないときがある。水温が上がるため水温の低い橋の下にアユが集まってくる。このような時に石についたコケを食べたアユは口が赤くなって病気になり、シラサギに食べられたりする。堰から越流するくらいの水は蓮ダムから出して欲しい。また、祓川と櫛田川の分派量は、田圃の面積の比率になっているのか。（櫛田川第一漁協）

→蓮ダムでは 6/16～10/31 の洪水期には 16m 水位を下げ洪水に備えている。

一方で、両郡橋を基準として流量は決まっており、不足するときは不特定容量で補給している。放流する水質については、選択取水設備で水温や濁りが下流河川に影響しないように流している。このように、洪水にも利水にも調節しながら運用をしている。

- ・新屋敷取水堰下流で稚アユの採捕を行っているが、今年は1tをくみ上げた。櫛田川の4漁協と内水面漁連に分配している。(櫛田川第一漁協)
- ・月1回の水質調査はどこで行っているのか。(多気町中朝長区長)  
→櫛田橋と両郡橋で毎月第一水曜日に実施している。調査結果のデータはHPでも見ることができる。
- ・水質について、BODが一番の指標と思うが、それ以外どのような項目を調べているのか。アユがまずくなっているという話もあったが、コケが昔と変わってきているということはないのか。質という統計データでは表れにくい指標でも見ていく必要がある。(多気町荒蒔区長)  
→水質調査の計画書があり、30項目くらい調査している。項目によっては3ヶ月に1回の調査となっている。
- ・重要な水質項目は何か。(多気町中朝長区長)  
→BODの他に、pH、アンモニウム態窒素、オルトリン酸態リンなどがある。

### (3) 地域連携の取り組みについて

○H30に実施した地域連携の取り組みについて説明を行った。

○委員より以下の意見、質問を頂いた。

- ・外来種はいつ頃から櫛田川に入っているのか。また、川はS字になっているが、まっすぐにした方が良いのではないか。ウナギは昔は良く捕っていたが、今はどのようなやり方で捕っているのか。(多気町中朝長区長)  
→外来種のうち、コクチバスについては、H27調査から確認されている。  
川をまっすぐにしても、川幅や水量の関係もあって、自然と蛇行形状となる。  
→ウナギは、竹もじ(どう)を今でも作っている人がおり、それで捕っている。  
ひと夏に100匹以上捕れ、今夏は130匹捕れたと聞いた。水質が改善されたことや、魚道が改良されたことが効いていると考えている。(漕代まちづくり協議会 随付)

### (4) 今後の予定について

○平成31年度の推進会議や活動、モニタリング等の予定について事務局から説明を行い、了承された。

## 5. 閉 会